

■米国：需要家を狙った新手の詐欺

需要家に電話して、請求書を完済しない場合は電気を止める、と脅して詐欺を行うのは、もう古いらしい。2014年9月7日現地報道によると、PNM社（ニューメキシコ州）は先週、家庭用エネルギー診断と称して、PNM社社員を装う個人に用心するよう需要家に警告する記者発表を行った。「お客さまが、心に留めておく最も重要なことは、当社の社員が伺う日付と時刻を覚えておくことです。当社は、連絡をしないでお客さまのお宅に伺うことはありません」とPNM社の広報担当者は現地紙に語っている。この家庭用エネルギー診断プログラムは人気のある制度で、40ドルの手数料で、住宅所有者は電気使用の包括的な見直しのほか、プログラム可能なサーモスタット、電球型蛍光灯、低流量シャワーヘッドと泡沫金具を受けとる。PNM社は需要家に対し、以下の注意を喚起している。（1）接触してきた人に、あなたの電気料金に関する情報や個人データを提供しない（2）PNM社家庭用エネルギー診断の事前予約なしに、あなたの家になじみのない人を入れない（3）PNM社との業務だとして、別の会社の名前で請求されるエネルギー診断の費用を払わない（4）その人物が許可なしにあなたの家に入ろうとした場合、警察を呼ぶ（5）迷惑な電話が掛かってきた場合は、後で電話すると応え、一旦電話を切り、PNM社家庭用エネルギー診断プログラム（1-855-775-6491）に電話する。（当社は、その人物が実際PNM社の担当かどうかを調べて回答します）（6）社員のシャツや車に付いているPNM社のロゴを確認し、社章を見せるよう言う（7）玄関先に現れた人物の身元について懸念がある場合、直接PNM社家庭用エネルギー診断プログラムに連絡する。